



「わたしのワンピース」

にしきまき かやこぶん・え

ふわふわとお空から落ちてきた白い布でうさぎちゃんはワンピースを作ります。「わたしににあうかしら」ワンピースを着てお散歩すると…お花畑では、花模様に、雨が降り出すと水玉模様にと、次から次へとワンピースの柄が変わっていきます。ラララン ロロロン ランロンロン♪とリズムカルなことばが心地よく、次は何かな…とページをめくるのが楽しくなります。鮮やかな色遣いやかわいい絵に、女の子はもちろん男の子にも人気の一冊です。



「11ぴきのねこ」

馬場 のぼる

11ぴきの野良ねこは、じいさんねこに教えてもらった“大きな魚”を捕まえに、広い湖へ出かけます。数日待ち続け見つけることができ、失敗を繰り返しながらやっと捕獲成功!!“ねんねこさっしゅれ”の子守歌がポイント?! みんなに見せるまでは「ぜったいに たべないこと!」と約束したのですが…。最後のオチに「やっぱり～(笑)」と、心から楽しめるお話です。表紙には10ぴき…あれ?あと1ぴきはどこ?お話が始まる前からワクワクします♪



「ひとまね こざる」

H. A.レイ文・絵
光吉夏弥・訳

子ども達に親しみのあるジョージ。なんでも知れたがり屋のジョージは動物園から抜け出します。いい匂いに誘われてレストランの厨房にこっそり!スパゲティを食べてしまい掃除と皿洗いをすることになります。次はビルの窓ふきの仕事のはずが…あれれ?逃走劇にクスッとしたり、器用さに感心したりといろんなジョージを知ることができます。好奇心旺盛なところは子ども達と一緒にかわいい!!読んでいて愉快的気持ちになります。指宿に出没するお猿さんも、知れたがり屋なのかな…。